YO-501W：届出番号 13B1X00206000035
YO-502W：届出番号 13B1X00206000036

機械器具（21）内臓機能検査用器具

一般医療機器　再使用可能なパルスオキシメータプローブ　37808000

上腕血圧測定キット　YO-501W
上腕血圧測定キット　YO-502W

禁忌・禁止

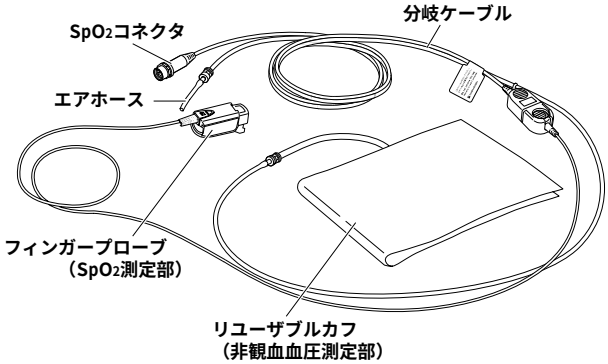
併用医療機器［相互作用の項参照］

- 可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用

形状・構造および原理等

本測定キットは、携帯型救急モニタに接続して、非観血血圧（NIBP）および動脈血酸素飽和度（SpO_2）を測定するキットです。分岐ケーブルの長さにより、YO-501WとYO-502Wの2種類が用意されています。

形　状



構　成

YO-501W

名称・型名			個数
分岐ケーブル		JX-002W（1.5m）	1
リユーザブルカフ	成人用	YP-963T	1
	小児用	YP-962T	1
フィンガープローブ		TL-201T	1

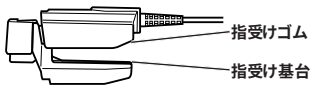
YO-502W

名称・型名			個数
分岐ケーブル		JX-003W（3.0m）	1
リユーザブルカフ	成人用	YP-963T	1
	小児用	YP-962T	1
フィンガープローブ		TL-201T	1

備考：1. 構成品は、単体で販売する場合があります。
2. 本測定キットに使用できるSpO_2プローブ、血圧測定用のカフはすべて既承認品です。詳細は、携帯型救急モニタの取扱説明書 8章 技術資料「オプション」の項を参照してください。

材　質

SpO_2プローブ



名　称	材　質
LED窓	シリコンゴム
PD窓	ABS
指受け基台	ポリカーボネイト
指受けゴム	シリコンゴム

カフ部

名　称	材　質
外袋	ナイロン
内袋	PVC

適用機種

本測定キットは、日本光電工業製の携帯型救急モニタに使用します。

販売名	承認番号
携帯型救急モニタ WEC-5003　ライフメイト	20800BZZ00458000

原　理

SpO_2

指などの比較的厚みの薄い部分に、赤色光および波長の異なる2種類の赤外光を照射し、透過した光を受光素子で電気的信号に変換します。
この得られた信号をモニタ本体側でパルススペクトロフォトメトリ法によりSpO_2として算出します。

非観血血圧

上腕に巻き付けたカフにより加圧／減圧を行い、脈波より血圧を測定します。

使用目的、効能または効果

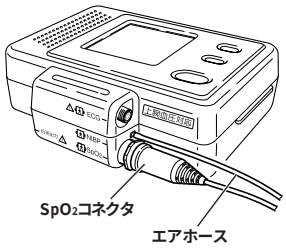
使用目的

小児または成人患者の手指、耳、鼻梁、足などの部分に使用し、皮膚を通して光を照射し、動脈組織血中のオキシヘモグロビンおよびデオキシヘモグロビンによって吸収される光量を検知するために用いる用具です。親機で信号が受信され、結果が表示されます。本品は再使用可能です。

操作方法または使用方法等

接続して使用するモニタ本体、血圧測定用のカフ、SpO2プローブの添付文書（含む取扱説明書）も併せて参照してください。

測定前準備－モニタ本体への接続



1. モニタ本体のエアホース接続コネクタに、分岐ケーブルのエアホースを接続します。
2. モニタ本体のSpO2接続コネクタに取り付けられている白い保護キャップをはずします。
3. 分岐ケーブルのSpO2コネクタを手で回してしっかり接続します。最後にスパナなどの工具を利用して締め、手では外れないようにしてください。

測定前準備－非観血血圧

カフの選択

本測定キットの構成品およびオプション品から、傷病者の腕の太さや出血の状態、着衣の状態などを確認し、用途により適切なカフを選択します。

詳細は、携帯型救急モニタの取扱説明書 3章 救急モニタ単独での使用方法「測定前準備 上腕血圧測定キット カフの選択」の項を参照してください。

カフの接続

選択したカフを、本測定キットの分岐ケーブルのエアホース側に接続します。

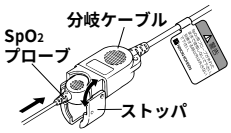
測定前準備－SpO2

SpO2プローブの選択

本測定キットの構成品およびオプション品から、用途により適切なSpO2プローブを選択します。

詳細は、携帯型救急モニタの取扱説明書 3章 救急モニタ単独での使用方法「測定前準備 上腕血圧測定キット SpO2プローブの選択」の項を参照してください。

SpO2プローブの接続



選択したSpO2プローブを、本測定キットの分岐ケーブルのSpO2側に接続します。

［注］SpO2プローブは、交換するとき以外は外さないでください。

傷病者への装着

カフの装着

接続したカフを、傷病者の腕に指が2本入る程度に巻きます。

詳細は、カフの添付文書（含む取扱説明書）を参照してください。

SpO2プローブの装着

接続したSpO2プローブを、傷病者に装着します。

詳細は、SpO2プローブの添付文書（含む取扱説明書）を参照してください。

カフ・SpO2プローブの交換

カフまたはSpO2プローブを外し、新しいカフまたはSpO2プローブを接続します。

清掃・消毒・滅菌

清　掃

水、中性洗剤または消毒用アルコールをふくませた柔らかい布できれいに拭きます。

消　毒

以下の消毒液をふくませた柔らかい布で拭きます。

・塩酸アルキルジアミノエチルグリシン（テゴー51®など）
・グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテン®など）

※テゴー51®、ヒビテン®は登録商標です。

［注］・コネクタ部は液に浸さないでください。
・消毒液は正しい濃度で使用してください。

カフおよびSpO2プローブの清掃・消毒・滅菌については、カフおよびSpO2プローブの添付文書（含む取扱説明書）を参照してください。

使用上の注意

使用注意（次の患者には慎重に適用すること）

SpO2のモニタリング

- 高熱の患者、末梢循環不全を起こしている患者［SpO2プローブの位置を頻繁に変えてください。SpO2プローブの装着部位は通常2～3℃温度が上昇するため、熱傷を生じることがあります。また、装着部位で圧迫壊死を生じることがあります。］
- 以下の場合は、正しく測定できない可能性があります。
  ・異常ヘモグロビンの量が多すぎる患者（COHb、MetHb）
  ・血液中に色素を注入した患者
  ・CPR処置をしている患者
  ・静脈拍動がある部位で測定している場合
  ・体動がある患者
  ・脈波が小さい患者

非観血血圧の測定（上腕で血圧を測定する場合）

- 出血傾向あるいは過凝固状態の患者［カフで腕を締め付けた後に点状の出血や血栓による循環障害を生じることがあります。］

重要な基本的注意

本測定キットについて

- 本測定キットを適用機種以外の装置に接続しないでください。患者が熱傷をおこすことがあります。
- 推奨する部位にカフおよびSpO2プローブを装着しても、たびたび、装着部位、カフ圧、脈波検出に関するメッセージが表示されるときは、カフまたはSpO2プローブの劣化が考えられます。この場合は、カフまたはSpO2プローブを交換してください。
- 本測定キットのケーブルを強く引っ張ったり、無理に折り曲げたり、キャスタ等で踏みつけないでください。また、水や薬液に浸さないでください。ケーブルが断線あるいはショートして、患者が熱傷を負うことがあります。また、正しい値が得られない可能性があります。この場合は新しい測定キットと交換してください。
- カフおよびSpO2プローブは、傷口や炎症のある部位に装着しないでください。
- 接続して使用する携帯型救急モニタ（WEC-5003）の取扱いの詳細は、添付文書（含む取扱説明書）を参照してください。
- 接続して使用するカフの取扱いの詳細は、カフの添付文書（含む取扱説明書）を参照してください。
- 接続して使用するSpO2プローブの取扱いの詳細は、SpO2プローブの添付文書（含む取扱説明書）を参照してください。

SpO2のモニタリング

- プローブをテープで固定する際は、テープを強く巻きすぎないようにしてください。同時に、装着部位より末梢側に鬱血が生じていないかなどで、常に血流をチェックしてください。短時間の装着でも血流を阻害し、圧迫壊死および熱傷を生じることがあります。また、血流の阻害で正しく測定できないことがあります。
- プローブは一定時間（ディスポオキシプローブは約8時間、リユーザブルプローブは約4時間）ごとに装着部位を変えてください。SpO2プローブの装着部位は通常2～3℃温度が上昇するため、熱傷を生じることがあります。また、装着部位で圧迫壊死を生じることがあります。
- 装着部位が血液などで汚れていたり、患者がマニキュアをしているときは、汚れやマニキュアを落としてから本センサを装着してください。血液やマニキュアの色によっては、透過光が減少し、測定誤差を生じたり、測定できないことがあります。
- 特に強い光（手術灯、太陽光など）の当たる場所で使用する場合は、毛布などで光を遮るようにしてください。測定精度に影響を与えます。

- プローブの使用により、皮膚の発赤やかぶれなどの過敏症状が現れた場合は、装着位置を変えるか、使用を中止してください。

非観血血圧の測定

- 繰り返し測定する際は、測定部位の状態に注意し、血流が十分に回復するだけの間隔をおいてから測定してください。血圧測定は測定部位の血流を止めるため、傷病者の状態によっては、頻繁に測定を繰り返すと組織を損傷したり、壊死させる恐れがあります。
- 不整脈、ショック、循環不全および走行中など測定条件の悪い状況で血圧を測定する場合は、本測定キットでの測定値と予想される血圧値が異なることがあります。この場合は、聴診法や触診法で血圧を測定して確認してください。
- カフのサイズは上腕周径に適したものを使用してください。サイズが合わない場合、測定値に誤差を生じることがあります。
- 指血圧の測定データを伝送する際、血圧値は指カフによる測定であることを、必ず医師に伝えてください。指での測定は自律神経や出血などの影響を受けやすく、上腕に比べ、若干、高値になることがあります。
- 非観血血圧の測定時の血液の重さ（静水圧）の影響をなくすため、カフは心臓の高さに合わせることが必要です。仰向けで自然に腕をのばした場合では高さが合いますが、その他の体位の場合にもセンサの高さが心臓の高さと合うように注意してください。心臓とセンサの高さが異なると、測定誤差の原因となります。（10cmで約8mmHg）
- エアホースが折れ曲がったり、圧迫されたりすることのないようにしてください。雑音の原因になり正確な測定ができない場合があります。

相互作用（併用禁忌・禁止：併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
可燃性麻酔ガスおよび高濃度酸素雰囲気内での使用	使用禁止	爆発または火災を起こすことがある

相互作用（併用注意：併用に注意すること）

電気手術器（電気メス）

- SpO_2が正しく測定できない場合があります。［電気メスのノイズ］

妊婦、産婦、授乳婦及び小児等への適用

SpO_2のモニタリングについて

- 新生児、低出生体重児にプローブをテープで固定する際は、テープを強く巻きすぎないよう特に注意してください。同時に、装着部位より末梢側に鬱血が生じていないかなどで、常に血流をチェックしてください。
  ［短時間の装着でも血流を阻害し、圧迫壊死および熱傷を生じることがあります。また、血流の阻害で正しく測定できないことがあります。］
- 新生児、低出生体重児については、症状および程度に応じてプローブの装着部位をより頻繁に変えてください。
  ［新生児および低出生体重児は皮膚が未成熟であり、SpO_2プローブの装着部位は通常2～3℃温度が上昇するため、熱傷を生じることがあります。また、装着部位で圧迫壊死を生じることがあります。］

貯蔵・保管方法および使用期間等

使用環境条件

温度範囲　10～40℃
湿度範囲　30～85%（結露なきこと）
気圧範囲　70～106kPa

保存環境条件

温度範囲　－20～60℃
湿度範囲　10～95%（結露なきこと）
気圧範囲　70～106kPa

耐用期間

本測定キットは消耗品です。開封時に傷、破損があった場合、材料に変質が見られた場合は、無償交換いたします。

包　装

1本単位で梱包

製造販売 日本光電 日本光電工業株式会社
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560
☎(03)5996-8000(代表) Fax(03)5996-8091
製造業者 日本ビニールコード株式会社